

タイトル：令和元（2019 年度） 教育セミナー（第 15 回）

日時：2019 年 9 月 19 日（木）～22 日（日）

場所：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 3 階大会議室（303）

木場 雪香 （群馬大学大学院 教育学研究科 家政領域 2 年）

この度は教育セミナーに参加させていただきありがとうございました。

普段は教育学や家庭科について研究している私にとって、イスラームは専門外ではありませんものの、現在教育界では外国人児童生徒と呼ばれる海外にルーツを持つ子ども達が増えており、ムスリムやイスラームとは切っても切れない関係にあります。また、衣食住、家族といった家庭科の学習内容全般とイスラームの戒律や禁忌とは深い関係があると考えています。しかし、独学では正直限界を感じ、この教育セミナーにおいて、同年代のイスラームについて学んでいる学生と共にイスラーム研究の第一人者から講義を受けることなどを通じて、更に深めていきたいと思い参加を決めました。正直選考さえ通るか微妙な線でしたが、受講許可のメールが来たときは飛んで喜びました。そして、今回参加してみて良かったことが2つあります。

1つ目は、イスラームはこうだという答えが一つではないことです。

私は今回の教育セミナーで学んだことやイスラームについて冊子などの形にして現場の先生方に届けたいと思っていました。しかし、教育セミナーで教えて下さった先生方や学生のみなさんの話を聞くごとにイスラームとはこうである、これが禁忌であるといった一つの答えがあるわけではなく、ムスリム一人ひとりの考え方によって変わるということを学びました。なので、しっかりとムスリムの方とコミュニケーションを取りながら寄り添って対応を考える必要があるのだと思いました。簡単なことではありますが、このことに気付くことができたのは自分の中で大変大きな収穫でした。

2つ目は、初歩からしっかりと教えて下さったことです。

本当に初歩の初歩から学生さんも先生方も教えて下さり感謝の限りでした。アラビア語の綴りが分からない時はノートに書いてくださった先生がいらっしゃったり、分かりやすい言葉を使いながら研究内容を話してくれた仲間が居て、更に休み時間も分からないことはすぐその場で聞いて答えてくださる疑問を残さない様な環境を整えてくださり、初心者でも学びたいという気持ちがあれば実直に答えてくださるすごく優しい環境でした。そのため、丁寧に教えてくださったセミナーでの経験を基に更に次への学びへと繋げなければと鞭を入れられました。

最後になりましたが、諸事情により半分ほどしか参加できず申し訳ございませんでしたが、その様な状況でも柔軟に対応して下さり、今回のセミナーで教えて下さった先生方、セミナーを支えてくださった千葉様、そして受講生の皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。